

ボランティア班

【災害発生時】

外部 横浜 - (川崎) - 藤沢
 仙崎 防災センター、
 奥大井から、

- ・各班の不足人員の把握
 - ・ボランティアの受け入れ・配置
 - ・一時避難者の把握
- 1 各班の要望を整理し、区役所又は社会福祉協議会にボランティアの派遣を要請し、受け入れや配置、管理を行う。
 - 2 ボランティアへの各種案内、相談、情報提供を行う。
 - 3 社会福祉協議会や区役所との連絡調整を行う。
 - 4 各班は、関係するボランティアの窓口となる。
 - (1) 総務班…避難所施設の点検
 - (2) 救護班…応急手当、救護者の健康管理等
 - (3) 食糧物資班…救援物資、食糧、炊き出しの配給
 - (4) 環境衛生班…避難所の整理整頓、清掃の補助
 - (5) その他…各自主防災組織の支援
 - 5 一時避難者の把握と避難所ルールを徹底させる。
 - 6 在宅者等との連絡調整を行う。

【平常時の活動・訓練など】

- 1 災害ボランティアを必要とする業務や班を想定し、ボランティアの規模や依頼する内容について検討する。
- 2 帰宅困難者の受け入れ方法を検討する。
- 3 在宅者や避難所区域外から避難してきた被災者に対する対応を検討する。